

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 AOKI ホールディングス（証券コード:8214）

【見通し変更】

長期発行体格付
格付の見通し

A
安定的 → ネガティブ

■格付事由

- (1) 紳士服専門店チェーン第2位の「AOKI」（ファッション事業）などを傘下に持つ純粋持株会社。ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を運営するアニヴェルセル・ブライダル事業、複合カフェやカラオケルームを営むエンターテイメント事業でも業界上位に位置している。当社と事業会社との一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費行動の変化により各事業の売上が低迷している。これまでは需要が異なる事業を組み合わせることで業績変動を抑制していることを評価してきた。ただ、各事業の需要回復が見通しづらい中、当面の利益水準は従前に比べ低位に留まる可能性がある。財務構成が良好であることもあり、格付は据え置いたが、見通しをネガティブとした。今後は当社の環境変化への対応、それに伴う業績回復の状況を注視していく。
- (3) 紳士服市場の更なる縮小が見込まれるなか、当社は成長余地の残るエンターテイメント事業を拡大していく方針であることから、出店状況と業績への寄与を確認していく。ファッション事業ではテレワークの定着によりビジネススタイルの変化が加速している。今後は消費者ニーズにマッチした品揃えの強化、店舗運営の効率化、オンラインショップの強化により収益力の回復につなげていくことが重要である。アニヴェルセル・ブライダル事業では挙式・披露宴の延期・キャンセルにより施行組数が減少している。また、今後は披露宴の規模縮小により組単価が低下する可能性もあることから施行状況、受注動向を注視していく。
- (4) 21/3期第1四半期は営業損失75億円、四半期純損失64億円となった。今後の経済活動の回復を織り込み、通期業績は営業損失20億円（前期は66億円の黒字）、純損失は53億円（同4億円の黒字）を計画している。21/3期第1四半期末の自己資本比率53.2%。赤字計上に伴い自己資本を毀損したが、良好な財務構成を維持している。引き続きエンターテイメント事業での出店を進めていく方針であるが、財務面に配慮しつつ実施されるとみられ、財務構成が急速に悪化する可能性は限定的と考えられる。

（担当）千種 裕之・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：株式会社 AOKI ホールディングス

【見通し変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	ネガティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年10月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「小売」(2020年5月29日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社 AOKI ホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル